

やすらぎだより

5
月
号

陽気で緑にあふれた生活 それやすらぎ園です

コラム第119号

「女性の社会進出」

施設長 植田 誠



「施設長は女性リーダーの登用については如何ですか？」
 年度始め、当法人恒例の全職員面談で、ある女性スタッフが発した質問がやけに心に刻まれた。
 「現状は少ないですが、比率からも、また社会の流れからもより増えるべきだと考えます」
 当たり障りのない私見を、彼女は期待はずれであったような素振りで聞いていた。客観的ではなく、具体的な展望を知りたかったのかもしれない。

男女共同参画社会基本法が制定され15年が経過した。現内閣では女性活躍担当大臣という、ネーミングはともあれ画期的なポストも配置された。性別による差別を排除し個人の能力を発揮する機会が確保される社会へと、我が国は漸進している。

とは言え、2014年度の世界男女格差報告での日本のランキングは104位。女性議員や女性管理職の率が余りにも低い現状では、‘草食男子が主流なのでそのうちもっと女性が進出する’等という呑気な風潮では通用しない。

介護保険が始まる直前、奈良県文化会館小ホールにて県主催のとある説明会に介護支援専門員として登壇した。話が制度論から女性の社会進出に及び私見を求められた。

「私の妻は専業主婦です。女性が家庭を守るという・・・」
 話の途中で気付いた、誤解を受けると。案の定、フロアーからキツイ意見「貴方の考えは女性蔑視です！」
 介護疲れに悩むその主婦の声は、私の胸に突き刺さった。

近代日本の礎を築いた明治4年の岩倉視察団、12カ国2年にも及んだ調査視察の報告書に記された、欧米に行って最も驚いたこと。それは、
 「アメリカは、かかあ天下なり」
 歴史を紐ときそして自らを振り返れば、今が見え明日に活かせるはずだ。



社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- 特別養護老人ホーム やすらぎ園
- 在宅サービス事業所
 居宅介護支援事業所
 訪問介護事業
 訪問入浴介護事業
- 短期入所生活介護事業
- 在宅介護支援センター
- 天理市東部地域包括支援センター
- ケアハウス やすらぎ
- 介護予防関連事業
- グループホーム むつみあい